



あきた病院

だ
よ
り



今月の
写真

『 森吉山・樹氷平 』

森吉山へ行きました。残念なことにこの日は温度が上がり、樹氷が半分落ちていました。数日前までは温度が低く吹雪いていましたが、そのため樹氷平へのゴンドラは時々止まり、山頂駅に着いても霧のため何も見えなかったようです。タイミング良く樹氷に出遭うのは難しいようです。

名誉院長 間宮繁夫(写真・文)

あきた病院の理念

心のこもった 癒しの医療

あきた病院の基本方針

- 1 患者さんの権利を尊重し安心できる医療を提供します
- 2 快適で満足できる療育環境を提供します
- 3 政策医療を担いかつ地域医療に貢献します
- 4 研究・研修を推進し専門性ある医療の向上に努めます
- 5 生きがいのある職場作りを目指します

最新80列 マルチスライスCT 稼働

副診療放射線技師長 工藤 洋

令和3年1月25日より、最新の80列マルチスライスCTが稼働しました。COVID-19の影響で設置がなかなか難しい状況でもありましたが、どうにか当初の予定通りの稼働となりました。

今回導入されたマルチスライスCT(80列)は、本体内部にX線検出器を80列搭載しており、従来のCT(8列)より短時間で広範囲の検査が高画質で行えるようになりました。

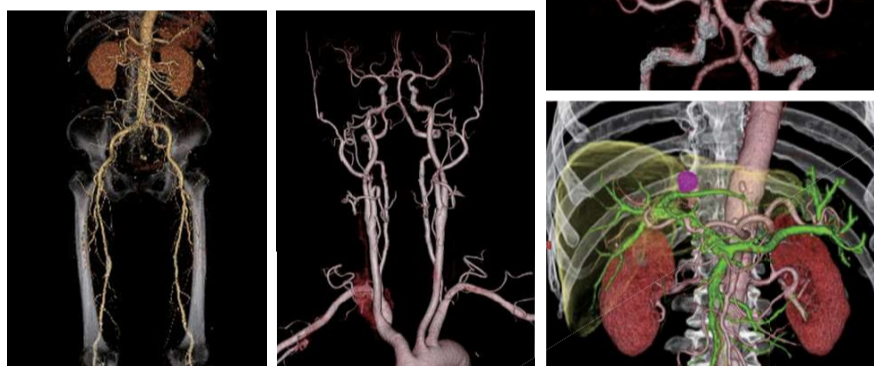
また、被ばく低減技術として逐次近似応用再構成法(AIDR 3D)が搭載され、画質を維持したまま放射線量を低減(最大75%)できるようになりました。高画質を実現する0.5mmスライス画像再構成などにより、更に精密な検査が可能となりました。

さらに内臓脂肪測定アプリケーション、尿酸結石の有無、分布、大きさを観察できる結石解析アプリケーションも搭載しております。また、人工関節や脳動脈クリップなど金属製インプラントにより、同部位の評価が難しい患者さ

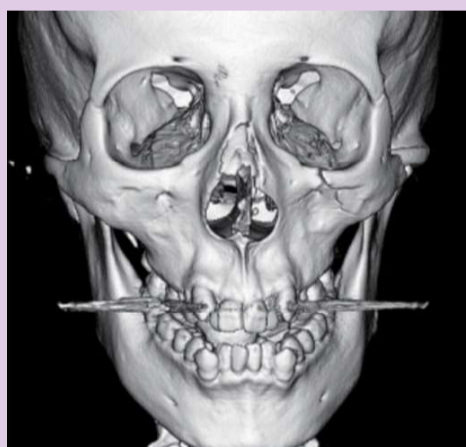


んでも金属の影響を低減できるソフト(SEMAR)により評価しやすくなりました。MRI検査が行えない患者さんでも骨挫傷の分布(骨髄撮影)も計測できるソフトも搭載されております。

開口径も78cmと広く、寝台も約35cmの高さまで下げられるため、患者さんのポジショニング時の体位と安全性を保つこともできます。



金属適応CT装置



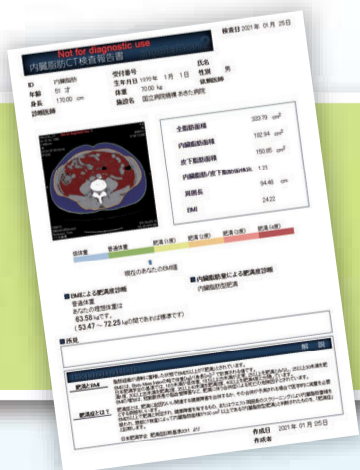
最新CT装置では、金属周囲での黒抜けがなくなり、正確な判断に活用いただけます。



従来CT装置



最新CT装置



当院のCT、MRI、RI、骨密度測定装置を近隣医療施設の先生に使用していただく大型機器共同利用システムがございますので、一度いかがでしょうか。





令和3年度

QC活動発表会開催

QC活動発表会事務局 漆原 正芳

令和3年2月15日にQC活動発表会を大会議室にて実施しました。昨年度までは年2回発表会を行っていたのですが、今年度は、より質を高めるため原点にかえり、じっくり行うこととなりQC活動の研修会を2回実施し発表会は1回の開催となりました。

発表会には13チームが参加しました。このうち審査員の評価の高かった3チームのQC活動発表会への取組の感想等を紹介します。



QC活動発表会を終えて

薬剤科 小松 雄貴

今年度よりあきた病院に配属され、経験の浅い身ではありましたが、サークルのリーダーとして今回の発表会に参加させていただきました。

私たちのサークルでは、テーマ名「調剤時のヒヤリハット削減を目指して」と題し、薬剤科業務改善へ向け現状把握や要因解析を行い、対策を講じることでヒヤリハット件数を大幅に減らした活動内容を発表させていただきました。今回の活動を通し、QC手法の各ステップにおける相関性及び重要性を実感でき、私自身とても有意義な経験になりました。今後も業務改善へ向け問題の解決に奔走し、より質の高い医療を提供できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



身体拘束削減に取り組んで

北2病棟 看護師 畑山 篤

今回「無くそう身体拘束北2から～身体拘束減らしてガッテン～」というテーマでQC活動に取り組みました。身体拘束の解除は個人で頑張ってもなかなかすすめることはできません。病棟スタッフが一丸となり取り組んだことで身体拘束時間を削減することができました。

今回で終わることなくこれからも身体拘束の削減を継続できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



毎年恒例のQC活動

臨床工学技士 岡野 卓

毎年恒例となっているQC活動。CE室では「輸液ポンプを清潔な輸液ポンプの使用を目指す」をテーマに活動しました。目標値には届きませんでしたが、輸液ポンプを清潔に使用するきっかけ作りにはなったのかなと思ひます。毎年のことではありますが、「QC活動を継続すること」と「テーマ探しに追われない」が個人的な課題です。今回の活動も無駄にならないよう継続して清潔なポンプの使用を呼びかけていきたいと思ひます。そして来年度のQC活動のテーマ探しの旅に出ます。



令和2年度 ケーススタディー発表会

1月27日(水)

キャリアラダーⅡ

南1病棟 谷口晴香
北1病棟 渡辺彩香
南2病棟 伊藤綺
北2病棟 鈴木芙未香
北3病棟 能登華江
東4病棟 松渕菜摘
東5病棟 今野花菜

2月10日(水)

キャリアラダーⅢ サファイヤ部門

東4病棟 加藤利香
東5病棟 村山則子
東5病棟 與齊美穂

キャリアラダーⅣ パール部門

北2病棟 鎌田彩香
北2病棟 有明里美

キャリアラダーⅤ ダイヤモンド部門

南1病棟 土田健治

クリニカルラダー 褥瘡Ⅲ

北3病棟 佐々木一也

クリニカルラダー 人工呼吸器Ⅲ

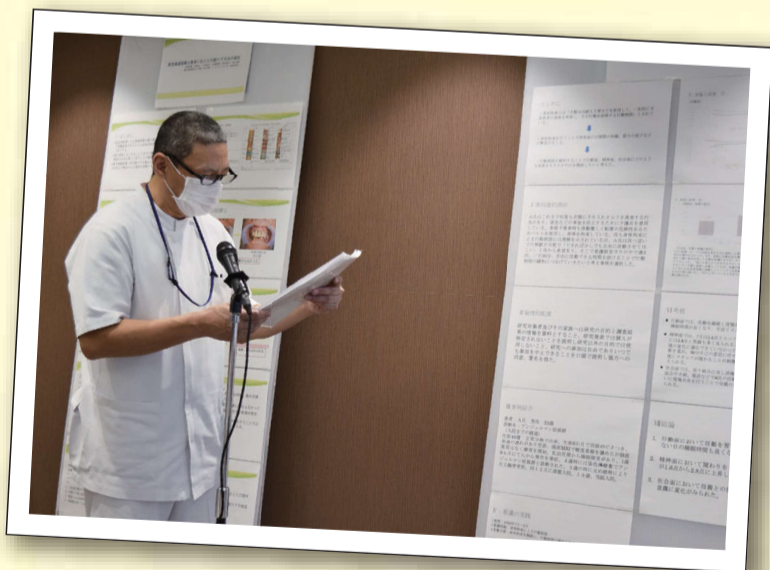
南2病棟 花橋牧子
北2病棟 池田ゆかり
南3病棟 佐々木勝志

キャリアラダーⅡ 南2病棟 看護師 伊藤 綺

今回ケーススタディーの取り組みとして、受け持ち患者さんの身体拘束時間短縮に向けた関わりを行いました。日常生活を観察することにより、患者さんにとって身体拘束が必要であるのか再度見直す機会となりました。患者さんの嗜好品を取り入れた事、抑制具を代替えた事、病棟スタッフへ情報共有した事で抑制解除へ繋げることができました。今回の取り組みから学んだ事を、今後の自身の看護へと役立てていきたいです。



(東5病棟 看護師 與齊美穂)



(南1病棟 副看護師長 土田健治)

クリニカルラダー人工呼吸器 南3病棟 看護師 佐々木 勝志

今回のケーススタディーでは、人工呼吸器の離脱の可能性について取り組みを行い、その過程で患者さんの適応力や強さを間近で感じ取る事が出来ました。進行性の病態を持つ神経難病の患者さんでも環境が整っている状況であれば、自分の可能性を広げ、一歩先に踏み出せる力がいつまでも持っているという事がわかり、その能力を支える看護の関わりがより重要である事を知ることができました。今後もこの関わりを続けていきたいと思ひます。

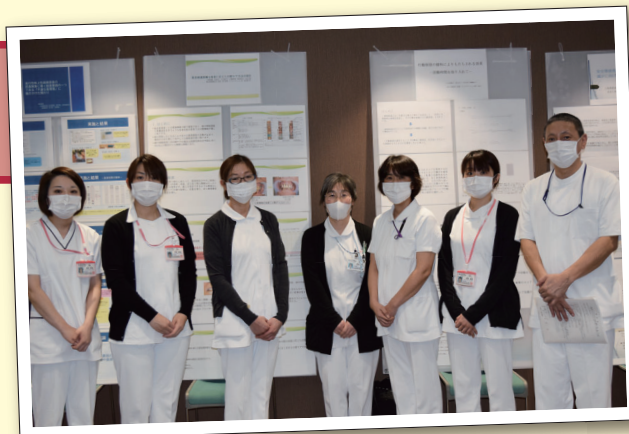
キャリアラダーⅣ 北2病棟 看護師 有明 里美

今回、安全带使用患者への身体拘束時間減少に向けた関わりというテーマでケーススタディーに取り組みました。患者さんの行動の意味に目を向けて考え、看護の方法を工夫していくことが重要であると学びを深めることができました。これからも日々の看護の中で、患者さんのために何が出来るかを考え関わっていきたく思います。





(キャリアラダーⅡ)



(キャリアラダーⅢ以上)

定年退職に寄せて



北1病棟 看護師長
阿部 京子

私は、看護師として約38年勤務しています。働き始めた最初の頃は「あと30年以上働かなければならない。なんて長いだろう。」という思いでした。しかし何故か本気で看護師をやめたいと思ったことがありませんでした。また、「看護師さん、大変だね。」と周囲に言われても、私は看護師以外の職業に就いたことがなく比較できないと答えていました。それは、悩んだ時に周りの支えがあり続け、この職業が好きになったからだと思います。

2018年4月、私は何十年振りに家を離れ、あきた病院へ単身赴任してきました。久しぶりの一人生活、見知らぬ土地、年相応の記憶力と理解するまでの時間など不安でしたが、3年が経過し、あきた病院で無事定年を迎えることができました。これも皆様の励ましや支援があったからこそ迎えることができたことに感謝しております。誠にありがとうございました。

4月からは別な形でもう少しお世話になります。今後もよろしくお願いいたします。

定年退職等をされる方々

(令和3年3月31日付)

○定年退職

看護師長 阿部 京子	准看護師 伊藤 浩子
看護師 菅 洋子	准看護師 東海林 智子
看護師 熊谷 里美	准看護師 佐々木 久子
看護師 佐藤 由美子	准看護師 真坂 ひとみ
看護師 藤原 朱美	准看護師 津谷 明美
看護師 梅田 あさみ	准看護師 相場 由美子
看護師 今野 美貴子	看護助手 中村 孝廣
看護師 打矢 妙子	

○辞職

看護師 疋田 直人
看護師 浅野 愛実
看護師 柳田 彩佳
看護師 湊 栞
療養介助専門員 文本 萌

○任期満了

看護師(再雇用) 佐藤 雅喜
准看護師(再雇用) 小野 文子
看護師(再雇用) 佐々木 ひろみ
准看護師(非常勤) 今野 勝子
看護師(再雇用) 堀内 トキ子
准看護師(再雇用) 大友 真津子
看護師(再雇用) 今野 久美子



検査科だより

副臨床検査技師長 橘 輝彦

あきた病院では、新型コロナウイルスにおける検査は、現在、コロナ専用PCR検査（スマートジーン）、抗原定性検査（簡易キット）、抗原定量検査（免疫発光測定装置ルミパルス）が実施されています。また、ルミパルスでは、新型コロナ以外の感染症（HBs抗体、HBs抗原、HCV抗体、TPHAなど）の検査を定量測定できます。これらにより入院患者さん、職員により正確な値を提供して健康を管理しております。



当院の新型コロナ検査 (令和3年3月現在)

臨床検査科

検体	PCR検査 (スマートジーン)	抗原定性検査(簡易キット)	抗原定量検査(免疫発光測定装置) (ルミパルス)	
	鼻咽頭ぬぐい液	鼻咽頭ぬぐい液	鼻咽頭ぬぐい液	唾液
検査結果日数	60分程度	35分程度	50～60分程度	
1日検査	5～6件	20～30件	15～20件	
感度	高感度	PCRに比べて感度が劣る	PCR検査と同等の高い感度	
無症状者	○	×	○	○



コロナPCR
専用機器
(スマートジーン)



抗原定量
検査機器
(ルミパルス)

抗原定性検査
(簡易キット)



外来担当医表

令和3年4月1日以降

診療科	月	火	水	木	金
内科 1	齋藤	奈良	間宮	間宮	齋藤
内科 2			阿部(糖尿病外来) (第2・4週)		
循環器外来					循環器・ 脳脊髄センター
禁煙外来				間宮 (予約制)	齋藤 (予約制)
脳神経内科 1	畠山	豊島	石原 (筋ジス)	阿部	和田
脳神経内科 2	小原	小林		市川	
リハビリテーション科				芋田	芋田
小児科	白崎	渡部※ (メンタルヘルス外来)	白崎	白崎	白崎
外科				秋田赤十字病院	
整形外科				三浦	秋田大学附属病院
皮膚科	牧		牧		牧
眼科		澤田	今井	澤田	細部
耳鼻咽喉科				井谷 (第2・4週)	
歯科	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木	鈴木

外来診療カレンダー

2021年 3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2021年 4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2021年 5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

●印は休診日です。

受付時間 新患 8:30~11:00 再来 7:15~11:00
診察時間 8:30~17:15(急患はこの限りではありません)

- 再来は予約制となっています。
- 火曜日の小児科、木・金曜日の禁煙外来を初めて希望する場合は事前に連絡願います。
- 火曜日の小児科の診察日は第2・4・5週です(祝日があれば前後の週に振り替えます)。
- 整形外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科(木・金曜日)の診察は9:30からです。
- 他の病院からの紹介で受診される患者さんは、事前に地域医療連携室までご連絡ください。可能であれば受診の予約をお願いします。

ICTからのお知らせ

- 新型コロナウイルス感染症の蔓延が懸念されています。入院患者への面会は従来と異なる方法で実施しています。詳しくは当院のホームページをご覧ください。
- 風邪症状、胃腸炎症状があって来院する方は、病院入口にある電話(PHS5553)でご連絡ください。 感染制御室

お願い

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際など医事窓口へ保険証をご提示ください。また、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合も同様にお願いします。

編集後記

2020年の幕開けとともに新型コロナウイルスが出はじめ、あっという間に猛威を振るって世界中に広がり、まさに歴史に残る時代を生きているんだと感じた1年。ウィルスの蔓延でマスクも様変わりし、デザイン性や機能性を求めて今では様々なマスクをして楽しむ人まで増えています。いろいろな意味で大変な2020年ではありましたが、マスクのように現状をポジティブに捉え、明るく元気に春を迎えられればと願っています。(編集委員M)



独立行政法人国立病院機構
あきた病院
 秋田神経難病医療センター

地域医療連携室
TEL 0184-73-2978 FAX 0184-73-2979
 〒018-1393 秋田県由利本荘市岩城内道川字井戸ノ沢84-40
 TEL 0184-73-2002 FAX 0184-73-2370
<https://akita.hosp.go.jp/>

発行責任者 院長 奈良 正之
 編集委員会委員長 臨床研究部長 和田 千鶴

初めてお越しの方は を目印にしてください。 ●案内看板
 ●車で羽後本荘駅から28.1km 30分 ●車で秋田駅から23.2km 32分